

二〇二〇年には東京でオリンピックがあるのだと、私たちは二年生になって沖縄に修学旅行に行くのだと、そう思っていました。大学入試が今年度から新方式になることは以前から決まっていたましたが、私たちは先輩方の経験から学び、そしてその背中を追っていけばいいのだと、ただ漠然と、先輩方と過ごす二〇二〇年の高校生活に思いを馳せていました。

ところが、世界は、たった八〇ナノメートルのウイルスにより一変しました。

東京オリンピックは延期となり、現在も開催が議論されています。私たちの修学旅行も今年度は実施できませんでした。先輩方にとって、高校生活における部活動の集大成となるはずだったインターハイや、そのほかの大会なども、ほとんどが中止となり、本校のみならず全国の高校生に大きなショックを与えました。新型コロナウイルスの影響とその不安は、今もなお、世界規模で広がり続けています。私たちは今、常にマスクとアルコール消毒を欠かさず、様々な制限と身体的距離を気にしながら、目まぐるしく変化する状況の中、静かに生活する毎日です。

このような状況にありながらも、自分たちにできることを常に模索し、前進し続ける先輩方の姿は、私たち在校生の胸に深く刻み付けられました。例年通りの開催ができなくなってしまった若鶴祭でしたが、先輩方の強力なリーダーシップがあったからこそ、初めての試みであったリモートでの実施が成功したのだと実感しています。できないことが多い中でも、臨機応変に、何よりも楽しみながら、新しいことに挑戦する先輩方の姿は、とても格好よく、私たちの目にまぶしく映り、そして、二〇二〇年の若鶴祭は忘れられないものとなりました。

また、未知の困難に立ち向かう先輩方の姿勢は、なによりも受験に発揮されていたのではないのでしょうか。昨年三月からの休校期間は、今年度から変更となった大学入学共通テストを受験する三年生にとっては大きな痛みだったことでしょう。新型コロナウイルスの影響で試験方法や日程が突然変わることもあり、常に不安や戸惑いを抱えながらの受験生生活だったことと思います。しかしそのような状況であっても、先輩方の、毎朝の電車の中でも時間を惜しみ、参考書を開いている姿や、放課後の自学研鑽室で、常に机に向かって集中し、勉強に励む姿は、私たちに努力の素晴らしさを教えてくれました。

そして、校内ですれ違おうと後輩の私たちにも笑顔で挨拶してくださいました。定時制の先輩方、社会不安が高まる中で、昼は働き、夜は勉強という大変な生活を両立させるのは並大抵のことではなかったと思います。直接関わる機会はありませんでしたが、定時制の先輩方の、勉強に向き合う真摯な姿勢からは、私たちも大きな刺激を受けました。

本日、晴れてこの日を迎えられた先輩方、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。先が見えない状況で、未知のものと戦うという大きな困難の中にありながらも、先輩方は、まさに本校の校訓である質実剛健・自学進取のとおり、真面目に努力を重ね、新しいことに果敢に挑戦し、常に前を向き続け、都留高生としてあるべき姿を私たちに示してくださいました。冬が過ぎれば必ず春が来るように、苦難の先には暖かな未来が必ずやってくるはずです。この都留高校で困難を乗り越える力を培った卒業生の先輩方の前途は、暖かく、花開く春となることと、確信しています。

名残は尽きませんが、先輩方が受け継ぎ、残してくださいました都留高校の伝統を、これからの代に繋いでいくのは私たちなのだという誇りを胸に、この都留高校を、先輩方の思い出の場所として守り続けていくことをお約束し、送辞とさせていただきます。

令和三年 三月 一日

山梨県立都留高等学校

在校生代表

真船彩華